



### 好問の炭礦研究

發達史と現状及將來

吉川生

(8)

好問の炭礦研究 發達史と現状及將來

吉川生

好問の炭礦研究 發達史と現状及將來

吉川生

好問の炭礦研究 發達史と現状及將來

吉川生

### 潮聲視静抄帳

十月集

天野雨山

### 街の夜貌

今村利洪

### 幕末神風組

高根秀浩

### 権爺イ中

寒風生

### 権爺イ中

寒風生

### 権爺イ中

寒風生

### 権爺イ中

寒風生

### 権爺イ中

寒風生

### 権爺イ中

寒風生

### 権爺イ中

寒風生

年頃より探掘され始めた  
イ、明治二十二年頃開鑿  
探掘者大平清八氏外數名  
田邊伸右衛門氏  
大平清八氏は好問村大字  
北好問の人、同大字下ヶ屋  
敷(新島下)に小横坑を開鑿  
後漸次大平清八氏の探掘  
採掘した、此の地は板  
木澤と稱し、舊平炭鑛の  
込ボットの下の下流の南岸  
に數人の探掘者あり、亦  
れより上流の舊平炭坑第二  
斜坑口上手(道路北側)にも  
露頭があつて(常磐炭上層  
の露頭)同氏等は此の露頭  
に横坑の開鑿をしたのであ  
る、當時は地方販賣が目的  
で微々たる採掘状態であつ  
た。後岩瀬郡北方村田邊伸  
右衛門氏の手に歸し、白井  
選平氏を経て大日本炭鑛株  
式會社の手に入つた好問  
と稱し、大正七年頃の好問  
不良なる事が不況來るとも  
に忽ち没落の悲運を見るに  
至つた

阿房の如く死んでゐる  
△官吏の穿靴登履を  
許す(明治四〇)△官吏  
の席巻を定む(同七)  
△運送船進水式(昭和  
五)△平塚、太刀洗、落  
松の飛行隊滿洲に向ふ  
(同六)  
△天皇陛下には午前大阪  
城内行在所御出陣大儀  
つてゐた  
△承知しました、キツト捕  
まへて御覽に入れやう  
藤七はいよいよ玄關の方  
へ走つて行つた、そして乾  
足音が入流れて響いて來  
てゐた  
「どうも恐ろしく足の早  
さだ、この境へかゝると  
手分けしてふん捕へる」  
「どうも餘り長すぎると思  
ひやした、一寸御前用  
達し角の伊勢仁まで行つ  
て來ると云つて出て行つた  
さうです」  
「よし！直ぐ追ひかゝらう  
と云つた時には、九平太は  
は刀を左手に握つて立ち上  
つてゐた  
「承知しました、キツト捕  
まへて御覽に入れやう  
藤七はいよいよ玄關の方  
へ走つて行つた、そして乾  
足音が入流れて響いて來  
てゐた  
「どうも恐ろしく足の早  
さだ、この境へかゝると  
手分けしてふん捕へる」  
「どうも餘り長すぎると思  
ひやした、一寸御前用  
達し角の伊勢仁まで行つ  
て來ると云つて出て行つた  
さうです」  
「よし！直ぐ追ひかゝらう  
と云つた時には、九平太は  
は刀を左手に握つて立ち上  
つてゐた



「何！」  
「どうも餘り長すぎると思  
ひやした、一寸御前用  
達し角の伊勢仁まで行つ  
て來ると云つて出て行つた  
さうです」  
「よし！直ぐ追ひかゝらう  
と云つた時には、九平太は  
は刀を左手に握つて立ち上  
つてゐた  
「承知しました、キツト捕  
まへて御覽に入れやう  
藤七はいよいよ玄關の方  
へ走つて行つた、そして乾  
足音が入流れて響いて來  
てゐた  
「どうも恐ろしく足の早  
さだ、この境へかゝると  
手分けしてふん捕へる」  
「どうも餘り長すぎると思  
ひやした、一寸御前用  
達し角の伊勢仁まで行つ  
て來ると云つて出て行つた  
さうです」  
「よし！直ぐ追ひかゝらう  
と云つた時には、九平太は  
は刀を左手に握つて立ち上  
つてゐた

品質第一 電話二六八番

平牛乳舎

平町・九品寺前

電話新設參七七番

田口はさき物店

田口長雄

季節料理

海老天どん 一金貳拾五錢

海老天ぶ羅そば 一金貳拾五錢

別製 松茸そば 一金貳拾五錢

満洲そば 一金拾五錢

土瓶むし。海老天ちらし

蛤なべ。かさなべ

本日より始めました。

何卒御試食を御願致します。

(出前迅速)

酒喜屋

平町 電話一七二番

胃腸病科 皮膚科

花柳病科 性病科

院醫科性病腸村松

(番七〇一電町南町平)

日本石油株式會社特約店

關影商店平支店

電話六二一

本店 水戸線下館驛前

茨城縣土浦町

(電話五五三)

常磐線關本驛

常磐線平海五

常磐線四倉驛

(電話四八)

海上給油及油槽所

久慈濱、大津、平海

お醬油は……ヤマフル

味噌醬油 たひら正宗 鹽 調味料

山崎合名會社

福島縣 平町

電話(營業部一〇番)

電話(本店二〇番)

明治生命會社代理店 山崎與三郎

耳鼻、食糧科、專門

平町南町 (元真木織物店)

増田耳鼻喉科醫院

電話四八二番

平町六丁目(橋際)

木村外科醫院

電話三〇一九

絹織物、正木織物店

開業三十五週年を祝するため一割

引にて大々的勉強御註文に應ず

親切確實、正木織物店、生命也

御註文の時、呼出電話六七四番へ、店員伺ます

平町字新町貳十貳番

正木織物店

安齊外科醫院

平町町赤心堂病院(電話四七五番)

入院隨意 自費の便あり

花柳病科 一般科

内臓科 外科

公園下 實績販賣

貨切、御用命

セヒ三井自動車部へ

電話六八五番

乗合は好問：合戸：澤渡方面行

